

第3次庄内町総合計画（案）に関する意見募集の結果について

令和8年2月12日

庄内町企画情報課

1 意見募集期間 令和8年1月5日（月）から1月30日（金）まで

2 意見提出人数 1人

3 意見提出件数 14件

4 提出意見と意見に対する考え方

番号	意 見	意見に対する考え方
1	庄内町の将来人口推計は、令和17年(2035年)15,069人、高齢化率44.2%と予想している。生産年齢人口1人で約0.9人の高齢者を支える状況を見ると、地域格差もあり極めて深刻な状況である。人口減少に歯止めをかけるためにも、P13、住みにくい理由(MA)の表はとても意義深いものがあり、その上で、P24の二つの方向性は優先すべき事項だと理解する。この生産年齢人口(15~64歳)には、障がい者就労施設で働いている方も対象として捉えていいですか。	生産年齢人口とは、15歳以上65歳未満(15~64歳)の年齢層とのみ定義されておりますので、就業先に関係なく対象となります。
2	女性の年齢別就業率の推移は、国・県よりも高い。町は、どのように捉えていますか。庄内町の特徴が出ているのではないのでしょうか。(例、世帯収入が少ない、自立している、女性が元気・・・)	山形県全体として、3世代同居が多いということもあり、女性の就業率は高く、結婚や出産をしても就業していることに抵抗がなく、就業先も女性が働きやすい地域性であると考えられます。また、県全体の賃金水準が低いことも、共働き率が高い要因と考えられます。
3	(4)町財政への影響の文言、「高高齢化・・・」は、どういう状況ですか。みんなが主役の参加型地域づくりが必要ではないのでしょうか。	「高齢化」の誤りです。修正します。みんなが主役の参加型地域づくりにつきましては、町の施策の推進において重要な視点として認識しております。

4	第3期庄内町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、令和8年度～令和12年度(2030年)の5か年である。第2期では、SDGsを掲げていたが、どのくらい達成していますか。	SDGs実現への貢献していくものとして位置付けているため、町独自で達成度をはかることはしていません。
5	令和5年度を初年度とする5か年の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を新たに策定・・・、社会課題解決や魅力向上を図るため、酒田市では日本海総合病院と連携し、「デジタル実装タイプ」の交付金を申請し、新しい医療・介護連携Team(チーム)が令和7年1月からスタートしました。庄内町では、何を実行されましたか。(xIDですか?マルチタスク車ですか?) 予定はありますか?	国の計画等を基に、令和6年3月に庄内町DX推進計画を策定し、住民サービス向上や地域の課題解決、活性化に向けたデジタル化に取り組んでいます。これまでも行政手続のオンライン化や行政MaaS導入、デジタルハザードマップの公開、スマート農業導入支援、小児科診療予約システム導入支援、介護認定審査会のペーパーレス化事業等、交付金を活用して行ってきました。現在、地域通貨や地域公共交通事業についてデジタル活用を検討しています。
6	(施策1)庄内町ブランド創生事業、6次産業化のKPI、基準値(R6)目標値(R12)は累計ですか? 開発商品数基準値(R6)838品目ありますが、現在、販売している商品数・販路先をご説明下さい。	新規雇用及び開発商品数については累計となっております。現在の正確な総取扱商品数につきましては、精査が必要となります。販路先は主に、クラッセ内にある「なんでもバザールあつでば」、「道の駅しょうない」、「いろは蔵パーク(酒田市)」、「庄内観光物産館(鶴岡市)」、「公式オンラインショップ(イグゼあまるめ)」などを活用し、販路確保に努めております。
7	(施策4)小規模事業者持続化応援事業は、商工会の指導のもとで、初めて事業計画を策定し、国の持続化補助金の採択を受けて取り組む事業とあります。基準値(R6)3件の内容はどのようなもの? 目標値(R12)10件は累計? 経営を指導する経営コンサルタントのような方はいますか? 庄内町には、社会保険労務士が一人もいません。	R6の基準値は、本町の小規模事業者持続化応援補助金活用実績値で、目標値はR8～R12の5年間の累計値です。経営指導については、庄内町商工会に経営指導員(3名)がおります。

8	地域経済の発展のため、企業誘致は進んでいますか？（例、クロネコヤマトの営業所のような企業）新産業創造館「クラッセ」内の、空きスペースの活用をどう考えていますか？	比較的規模の小さい事業者の企業立地や、町・商工会の支援を背景とした創業は進んでいます。なお、企業誘致については継続して取り組んでいきます。新産業創造館「クラッセ」の空きスペース（食のアンテナレストラン）について、令和7年度は「シェアキッチン」や「喫茶コーナー」として活用しております。なお、令和8年度以降については、現在入居者を募集している状況です。
9	（施策8）庄内町子育て応援企業認定応援制度で、育児休業取得に取り組む企業を応援する。とても重要な施策です。庄内町の対象となる企業数の把握は？また、どのように周知されていますか？	庄内町にある全ての事業者が対象となると考えておりますので、広報やホームページのほか、商工会など関係機関からも協力をいただき、周知していきます。
10	若者や女性にも選ばれる働きやすい環境づくりを推進するため、優良企業とか、えるぼしマークのようなマーク、ステッカーを町独自で認定したらいかがでしょうか。（例、庄内町として応援してます企業）	庄内町子育て応援企業認定応援制度については、制度設計も含め、今後検討していきませんが、庄内町として認定、応援していることがわかるよう周知していきたいと考えています。
11	（施策9）婚活支援事業は、庄内町、県内外、地域連携をして、こつこつ継続お願いします。二十歳を祝う会、同窓会等、若い人が集まるイベントを増やし、応援して頂きたいです。	今後も庄内地域内の他の市町との連携を行うとともに、令和8年度は町独自の婚活支援事業を計画しています。若い人が参加しやすいイベントを摸索してまいります。
12	地産地消、経済循環のためにも、小学校が夏休みの間も、学童で給食を出して頂けると保護者も安心して働けます。子育てお助け事業の環境をもう少し整えて頂くと、地域として応援できるのでは。	学童保育所での給食の提供は難しいところではありますが、現在、学童保育所を運営する実施組織愛康会と長期休業中の弁当提供の可能性について、協議中です。子育ておたすけ事業は、地域で子育てを支える為の重要施策と考え、子育て中の方が安心して利用でき「おたすけ会員」がやりがいを感じられるように活動報酬も含めて体制整備を図っていきます。 学校給食共同調理場は、学校及び幼稚園への給食の実施に支障を及ぼさない範囲において、必要と認められる施設等に対して、給食を実施することができることになっておりますので、今後の検討課題としてまいりたいと考えます。

13	<p>(施策 15)認知症サポーター養成講座は、今後も重要です。独り暮らしの高齢世帯が進むなかで、安心して住み続けられる町づくりは、地域での理解や手助けが必要です。学校での講座はもちろんのこと、支援する町職員の知識向上も必要だと考えます。全職員、講座を受け、行政サービスに努めて頂きたいです。住民も安心して相談できます。</p>	<p>役場職員対象の講座は、受講は一部関係職員等に限られていますが、今後職員向けの講座を開催したいと考えております。</p>
14	<p>(施策 17)防災 DX 推進事業で、デジタルハザードマップや防災アプリなどの防災 DX は、各 地域の意見を聴いて、避難所マニュアルを作成して頂きたいです。</p> <p>地域の企業とも、できることから、連携をお願いします。地元スーパー・ヤマサワ余目店と防災協定を締結しているときいていますが、一昨年の豪雨災害の時、何も機能しませんでした。</p> <p>近隣の店は休業せざるをえないなか、物流をとめてはならないと、普段どおり対応しました。住民の生活を守るためにも、地域企業との連携を強化することも大事です。</p> <p>企業誘致だけでなく、しっかり、町長自身が動くことを期待します。</p>	<p>WEB 版ハザードマップや県の防災アプリへの参画など、防災 DX 分野については、今後町でも力をいれていきたいと考えております。</p> <p>また、避難所マニュアルについては、各まちづくりセンターへは配布しており、避難所ごとの実情に応じて運用していただくこととなっています。</p> <p>町では、発災時に避難する場合、1 日分の食料を避難所に持参するよう呼び掛けているほか、避難所にも非常食を備蓄しております。</p> <p>したがって、一昨年の水害では、地元スーパーとの協定が機能しなかったのではなく、災害の規模が協定を活用するに規模に至らなかったものをご理解ください。</p> <p>その後も町としては、救援物資の保管や配送、住家の被害認定など災害発生から復旧・復興に至るまで地域の様々な業種の企業との協定を結び、災害に備えています。</p> <p>また、地域の事業所の皆様は、従業員や自らの身を守る必要があるほか、事業継続に向けた取組も必要と考えております。そのうえで、協力をいただける事業所様とは連携して町の防災力の強化に取り組んでまいります。</p>